岳連ニュース 宝永

URL:http://www.shizuokam.com

静岡県山岳連盟
〒420-8076
静岡市駿河区八幡3-1-17
TEL(FAX)054-288-7512
編集発行/総務委員会
平成27年6月15日発行
第１３号

平成27年度通常総会

個人会員制度の発足、計画・予算承認

平成27年度の通常総会が5月9日「もくせい会館」で開催された。

加盟団体の出席者数13名、委任状6名　計19名他役員等が出席した。

会長の挨拶のあと、塩澤寿雄議長を選出し議事に入った。

挨拶する滝田会長

26年度の事業報告と各委員会の報告が行われた。予定した事業はほぼ順調に消化できたが、少年少女登山教室は応募者が少なく、中止に至った。また、長崎国体では、成年男子がリード競技で3位に入賞し、県の競技得点に貢献できた。夏山登山教室はほぼ予定の人数で鹿島槍ヶ岳に登ることができた。スポーツフェスティバルは、台風の影響でコースの短縮やコースによっては半数の欠席者が出るなど、事業運営の難しさが出た。

塩澤議長

決算報告では分担金が期限内にすべて入金。事業収益金もあり昨年より若干繰越金が多く決算できた。

個人会員制度の創設では、加盟団体の減少する中、会勢の回復や個人登山者の遭難事故防止の観点から、制度の創設に至った。会則の改正案、制度案、規則案が提案され承認された。27年度から、個人会員制度が発足することとなった。

事業計画では前年の計画を継続するとともに、個人会員をターゲットとした、山行、講習会が多数計画されている。特に秋山登山教室やSG指導員養成講習会などを新しく企画した。広報誌「宝永」の年4回発行や、岳連カレンダーの販売も継続する。

会計予算は、個人会員の会費を計上。各事業の実施において、天候悪化などのやむを得ない事情においての事業補填を行う事業費の計上などが提案され、承認された。

27年度のスポーツフェスティバルは西部の大井川ブロックが担当し、10月17日、18日に長島ダム周辺・南アルプス前衛山域（七つ峰、天狗石山）を会場として、実施する。

コースはAコース（一泊二日）とBコース（日帰り）の2コースで申し込みは9月1日～30日まで。大勢の参加をと呼びかけている。（前川）

個人会員制度について

静岡県山岳連盟では、平成27年度より「個人会員制度」を始めました。これは安全登山の普及と山岳遭難防止を図ることを目的に、山岳連盟に加入していない登山者に、安全登山に関する講習と交流の機会を提供することを目的に発足しました。

①個人会員になると

(1)山岳連盟が行う講習会に割安で参加することが出来る。
(2)メール等により情報を提供する。
(3)山岳遭難時などの相談に応じる。
(4)原則(公社)日本山岳協会の山岳共済保険に加入する。
(5)その他、ハイキングや登山に関し、様々なアドバイスをします。
(6)年会費は3000円です。

②入会の手続き

(1)Eメール、FAX,はがきで下記の必要事項を明記の上、資料請求先に連絡する。
(2)ア、氏名　イ、住所　ウ、電話番号　エ、メールアドレス
(3)資料請求先・〒418-0022　富士宮市小泉1824-2
　静岡県山岳連盟　理事長　木ノ内　高嘉
　FAX　0544-27-7388　Eメール　kinoucht@ybb.ne.jp
(4)申込書と山岳保険の案内等を送付します。
(5)申込書を(FAX, Eメールか郵送の何れかで)送る。
　山岳保険は郵送で送る。
(6)年会費（3000円）と保険料を指定口座に振り込む。

以上で手続きを完了し、個人会員名簿に登載します。
講習会等の詳細は県岳連のホームページをご覧ください。（鈴木）

正副会長理事長会議

27年度の東海ブロック正副会長、理事長会議が、三重県桑名市のホテル長島で開催された。今年は専門委員長会議（指導、遭対、自然保護）も併せて開催するとのことで、滝田会長、木ノ内理事長、工藤指導委員長の3名が参加した。4県合わせて14名の出席であった。だが、委員長の出席が少なく、委員長会議を合同で実施した。

各岳連の事業の報告、計画の発表があった。

静岡からは今年の総会で個人会員制が承認されたことをメインに登山教室、冬山講習会、スポフェス、セルフレスキュー、競技登山の状況、カレンダーの販売などの計画を中心に発表した。また、スポーツクライミングの指導員養成講習会を開催するので、希望者があれば参加をお願いしたいと要請した。尚、昨年個人会員制度を発足させた岐阜は3名、三重は10名の会員登録があるという。

愛知からは今年の行事予定表をもとに計画が発表された。気象予報士が3名いるので気象講習会を実施しているという。高層気象を中心にネット上から得られる気象情報の利用の仕方などを学んでいる。

岐阜からは一般向けに確保、ロープワークの講習会、道迷い防止講習会、岩場を安全に通過するための講習会などを計画し競技では特にジュニアに力を入れているという。一般向けに週2回クライミング指導、子どもクライミング教室を日曜日に開催。4月に募集するが1日で定員に達したという。広報は新聞に依頼。

三重からは一般向け「山登りベーシック塾」の人気が高く、今年は定員を増やした。遭対委の活動が活発で、救助・捜索専門部を設け警察や家族からの依頼により昨年救助・捜索件数は延べ31回、303名で、すべてボランティア参加という。

そのほか「山の日」制定記念事業は各県独自で実施することが決まった。（木ノ内）

4月常任理事会

4月13日（月）、「静岡労政会館5階会議室」において常任理事会が開催された。

出席者は、滝田会長、塩沢副会長、木ノ内理事長ほか各常任理事15名が出席した。

始めに、木ノ内理事長から、長野常任理事退任に伴う変更の報告があり、新しく「しらびそ山の会」鈴木氏が紹介された。

滝田会長挨拶　本日は総会の提出議題の審議、準備、27年度からの個人会員に関する事項の確認等たくさんの内容です。

(1)指導委員会、遭難対策委員会、国体委員会いずれも報告事項無し。

(2)平成27・28年度のスポーツフェスティバル

・平成27年度は、大井川ブロックが担当。

・期日は10月17日（土）～18日（日）を計画している。奥大井長島ダム周辺の山（七つ峰と天狗石山）を会場に実施。Aコース（1泊2日）とBコース（日帰り）、参加費は、Aコース2000円、Bコース2500円多くの方の参加をお願いします。

・平成28年度は、東部地区にお願いしたい旨要請があり承諾された。

(3)和歌山国体（山岳競技）静岡県予選会

・5月6日（水）リード競技　浜松スクエア、ボルダリング競技B・SPOTで実施。

・競技役員について

審判員、競技運営役員が必要なのでお願いします。（必要人員は、8人。滝田、木ノ内、前川OK、後その他、都合のつく方は、諸戸委員長まで）

(4)和歌山国体（山岳競技）東海ブロック大会（三重県）

・7月18日～19日リード競技　鈴鹿スポーツガーデン（鈴鹿市）、ボルダリング競技　KOウオール（津市）で実施。

(5)27年度通常総会

・5月9日13時30分からもくせい会館。

・当日の進行・議長・役割分担を確認。

①26年度事業報告と決算報告について検討。

・決算報告では、事業収入が増えた事由の質問が有り、「スポーツフェスティバル・夏山登山教室・カレンダー等の事業による収入です。」との説明が有り、了承された。

②個人会員制度

・制度導入について専門委員会を設け検討してきた。所属団体の減少に伴い財政の逼迫や会勢の弱体化を防ぐ方策のひとつとして、他の岳連等の状況を参考に制度を設立することにした。連盟規約の改正、制度案、規則案、募集要項の原案等が提案され、了承された。

③27年度の計画と予算

・カレンダーは今年も販売する予定。広報誌は年4回発行。

・委員会の事業計画

冬山登山講習会、指導員研修会等の計画を提示し了承される。今年から、公認アルパイン指導員並びに公認スポーツクライミング指導員養成講習会を毎年実施することで定例化したい又、個人会員の講習会も計画している。

・高体連のインハイは主管が高体連、協賛が県岳連となる。なお、来年28年度の岐阜県の分を持回りで静岡県で実施します。

・国体委員会、竜爪山山岳競技は、登山道の状況により、実施する。

・遭難対策委員会、初級・中級レスキューを計画。

・海外委員会、著名アルパインクライマーの招聘、海外トレッキングの楽しみ方講座を計画。

・予算（案）、収入の部に「個人会員5名分」を予定している。支出の部に国体費及び事業費を今年度は計上した。（前川）

編集後記

個人会員制度が発足した。岳連の財政と会の活性化、安全登山への寄与などのメリットはたくさんあるが、制度を作り運営するにはかなりの労力が必要だ。個人会員が入会して良かったと言われるには、ニーズに合った各種の講習会や、山行の提供が求められる。各委員会が総がかりで取り組まないと制度の維持が困難となるだろう。この労力の提供の可否が組織の活性化と将来の発展に繋がるのではないか。（TK）

和歌山国体県予選会

リード浜松ＳＯＣ・ボルダＢ・ＳＰＯＴ

本年度の和歌山国体の予選会が32名の参加を得て、５月６日にリードを浜松スクエア、ボルダリングをＢ・ＳＰＯＴに分けて実施しました。リード競技は、成年女子・少年女子・少年男子が共通コースで、ボルダリングは成年女子と少年女子は共通のルートで行なった。まず、リードの３種別共通ルートでは、メイン壁から傾斜の強い渡りの部分の処理が難しいルートで、成年女子の望月選手と少年女子の中村選手が上部ルーフ下ホールドにタッチしてフォール。少年男子では、その部分に達する選手は出なかったが望月選手が混戦を抜けだし、最高到達点を獲得した（グレード12ｂ）

成年男子は、右壁からスタートしメイン壁にぬける終止ダイナミックな動きで遠いホールドを取る厳しいルート（グレード13ｂ）で、無駄のない登りの伊藤選手が最高到達点を獲得した。その後，Ｂ・ＳＰＯＴに移動して行われたボルダリング競技は４分間オンサイト・４課題のベルトコンベアー方式で、少年女子では北脇選手と中村選手が３完登で強さをみせた。また少年男子は、河合選手が３完登、あと３名が２完登でそれに続いた。最後の成年男子の課題は非常に難度の高い課題で、他の４名が完登が出ない中、大橋選手が２完登を決め大会を盛り上げた。セッターをお願いし当日も競技の終わるまで見届けていただいた、愛知県の大山さんから、コメントをいただいて閉会した。会場を提供していただいたスクエアさんとＢ・ＳＰＯＴさんには大変感謝申し上げます。

（諸戸）

日山協定時総会

５月31日（日）岸記念体育会館会議室において、日山協の平成27年度定時総会が開催された。

最初に神崎会長から、一昨年４月から日山協は公益社団法人となり、２年が経過した。本会は、わが国の登山界を代表する登山団体として、安全登山を第一に、山の環境と文化に配慮した登山及び山岳スポーツの普及・振興を図るため、関係機関・団体と連携・協力して、その実現に向けて努力している。

本年度は、国民の祝日として28年度から施行される「山の日」８月11日が国民こぞって、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日であることを念頭に、各種登山・山岳スポーツの普及・振興を全国的な視野に立って積極的・効果的に実施したい、と挨拶があった。

議事は、第１号議案平成26年度事業報告（案）について、平成26年度監査報告について、第２号議案平成26年度収支決算（案）について、第３号議案定款の一部変更について、第４号議案役員（理事・監事）の選任について、でいずれも全員一致で可決された。

なお、神崎会長は、健康上の理由で退任することになり、後任に、八木原圀明副会長が選任された。

次に報告事項は、１、27年度事業計画及び収支予算について、２、26年度日本山岳協会山岳共済会事業報告及び収支決算について、３、27年度正会員について、４、ネパール大地震救援募金について、５、創立60周年記念事業募金について、６、第54回全日本登山体育大会（予報）について、であった。

最後に、各ブロックから「山の日」の取組みについての報告があり、終了した。

（滝田）

２７年度　国体静岡県予選会表彰者

2015/5/6

種　別	順　位	氏　　名	所　　属
成年男子	1位	大橋征弘	自　営
	2位	伊藤裕貴	浜松スクエア
	3位	田邉匡律	立教大学
	3位	伊藤優輝	静岡大学
成年女子	1位	望月香菜子	宇都宮大学
	2位	渡辺亜梨沙	常葉学園大学
	3位	加藤真祐子	浜松スクエア
少年男子	1位	望月　衛	富士宮西高
	2位	佐野哲平	富士宮西高
	3位	田村祐人	富士宮西高
少年女子	1位	北脇順子	浜松日体高
	1位	中村祐香梨	浜松日体高
	3位	宇川未姫	富士宮西高

高校総体登山競技

優勝　男子団体　浜松日体高
女子団体　富士宮西高18連覇

今年度の高校総体登山競技は県西部の湖西連峰を会場として５月23日、24日に実施された。大会２日目は悪天候が予想されていたが、スタート前には雨も収まり、絶好のコンディションのもと男子21校、女子９校が参加し、全国大会、東海大会への出場権を目指し熱い戦いを繰り広げた。

男子は体力で一つ抜き出た浜松日体高校が総合点でわずかに藤枝東高校をかわし優勝、女子は富士宮西高校が18連覇を果たし、それぞれ８月に滋賀県高島トレイル、比良山系で開かれる全国大会への切符を手にした。

また、男子２位の藤枝東高校、同３位の富士宮西高校、女子２位の藤枝東高校、同３位の富士高校が６月に毛無山で行われる東海大会への出場権を得た。

男女ともに昨年に引き続き、非常にレベルの高い戦いとなり、上位大会への出場権を得た学校はいずれも、素晴らし完成度をみせていた。特に、富士宮西高校女子は昨年に続く全国制覇の期待がかかる。また、富士高校が男女ともに入賞し、女子が東海大会初出場を果たしたことにも注目したい。

入賞した学校は以下の通りである。（男子は６位まで、女子は４位までが入賞）

【男子団体】

１位　浜松日体　２位　藤枝東　３位　富士宮西　４位　日大三島　５位　浜松北　６位　富士

【女子団体】

１位　富士宮西　２位　藤枝東　３位　富士　４位　静岡　（清水）

日山協競技委員総会

平成27年度競技委員総会が４月３日、岸記念体育館で開催し、41県が出席し６県が欠席した。

議案１　平成26年度競技部事業報告

(1)競技会運営事業報告

リード・ジャパンカップ（長崎）、JOCジュニアオリンピックカップ、全国ルートセッター講習会、全国高校選抜クライミング選手権大会、ボルダリングジャパンカップ（群馬深谷）、日本ユース選手権、競技部ブロック研修会等の報告

(2)技術（審判）委員会事業報告

・C級審判数多くなった。今後は審判の質の向上の問題。

・国体リード競技での成績転記ミスあり。

議案２　平成27年度競技部事業計画

・ボルダリング・ユース日本選手権鳥取大会（５月）の実施

・競技部ブロック別研修会　東海（愛知県）平成28年２月27日～28日に決定。

議案３　平成27年度日山協公認ルートセッター、審判員の認定、登録。

議案４　第70回「わかやま国体」準備状況報告（和歌山県山岳連盟・みなべ町）

・リード競技県立南部高等学校、ボルダリング南部小学校特設会場（ともに南部駅から徒歩５分の距離）

・６月６日～７日国体リハーサル大会（ボルダリング）

・リードジャパンカップ開催

議案５　オリンピック・プロジェクト委員会（来年８月に採用競技が正式決定）

・現状報告について（課題と展望）

議案６　平成27年度日本代表選手の選考方法

・昨年のWカップの実績＋リードジャパンおよびボルダリング・ジャパンカップの結果により決定

議案７　東海ブロック別出場枠

東海ブロック出場枠数			
	成女	少男	少女
h27	2	2	1
h28	1	2	1
h29	1	2	2
h30	1	2	1
h31	1	2	1
h32	1	2	2
h33	1	2	1
h34	2	2	1

・国体会場は天候に左右されない室内が望ましい。鹿児島国体（第75回）より、その方向で考えていきたい。

（諸戸）

南ア春山相談所開設

沼平指導センター

南アルプスの春山相談所が、４月２９日から５月６日までの８日間、沼平の指導センターに開設された。

県遭対協からの要請により、県岳連から指導員を派遣した。また、警察の山岳救助隊員もその間常駐し、登山者の相談、指導及び天候や雪全状態などの情報提供を行い、安全山の一翼を担った。

この期間の沼平からの入山者は、前半少なかったが２日の土曜日から光が増え計１０４パーティで茶臼岳・高岳方面が６３パーティ、聖岳方面が１７パーティ、赤石岳方面が１９パーティ、その他が５パーティで昨年より多かった。

今年の春山は、３～４月の雨と高温で雪解けが進み雪は少なく、天候き晴天が続き、事故もなく良かったが、単独の登山者が増えているのが気になった。

（滝田）